

# Hitachi Koki

## 取扱説明書

形 名

10.8V [無段変速]

FCJ 10DL

# 日立コードレスミニソー

このたびは日立コードレスミニソーをお買い上げたいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	8

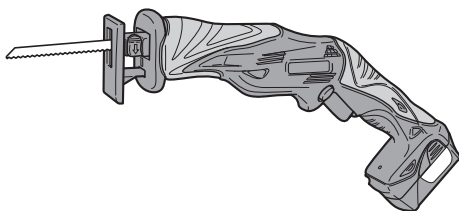
はじめに

充電する	9
基本機能について	11
ブレードの取付け・取りはずし	13
ベース位置の調整	14
切断する	15
窓抜きする	17

使い方

仕様	19
別売部品	20
点検とお手入れ	21
故障かな…というときは	23
ご修理のときは	25

その他







### 用途


- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断


HITACHI


## 警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
- ② **正しく充電してください。**
  - この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
  - 温度が 0℃未滿、または温度が 40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
  - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
  - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- ③ **蓄電池の端子間を短絡させないでください。**
  - 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

## 警告

### ④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。  
感電の恐れがあります。

### ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。  
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

### ⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

### ⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

### ⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。  
工具本体が作動して、けがの原因になります。

### ⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
工具本体が作動して、けがの原因になります。

### ⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。

### ⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業者以外、工具体体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具体体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率よく作業するために、工具体体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具体体を使用してください。**
  - 小形の工具体体やアタッチメントは、大形の工具体体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
  - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

### ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

### ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

### ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

### ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

### ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスミニソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - 埋設物があるとブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
  - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ④ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## 注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - 確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
  - けがの原因になります。
- ③ 使用直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
  - やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 工具本体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
  - モーターがロックし、故障の原因になります。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。

リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなると（電池電圧 6 V まで低下）モーターが停止します。

このときは速やかに充電してください。

② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。

このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。

⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

## ⚠ 警告

- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
  - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
  - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

## 蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。



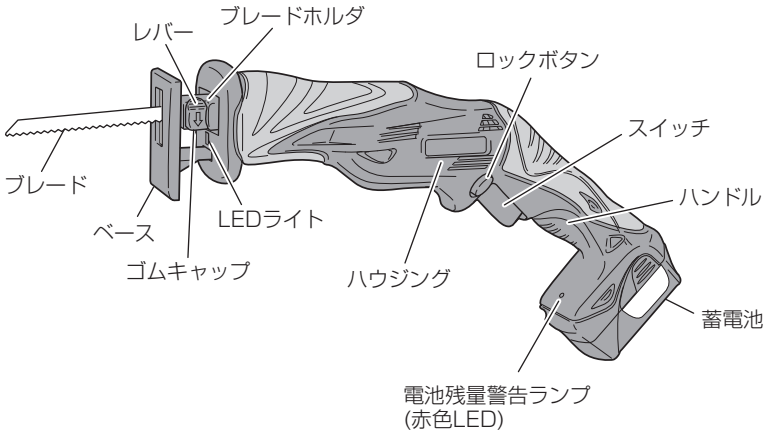
### ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。



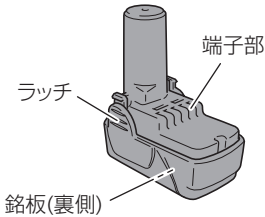
# 各部の名称

## 工具本体

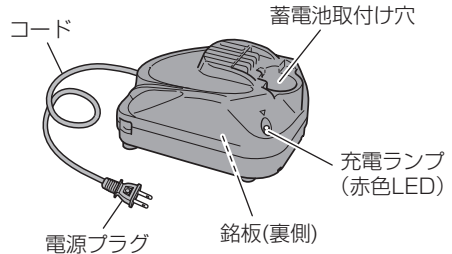


はじめに

## 蓄電池



## 充電器



## 標準付属品

品名	形名	個数
蓄電池	BCL 1015	1個(本体装着)
充電器	UC 10SFL	1台
ブレード	No. 41 (木工用)、No. 123X (鉄工用)	各1本
六角棒スパナ	3 mm	1個



# 充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

## ⚠ 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

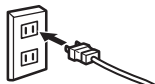
## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

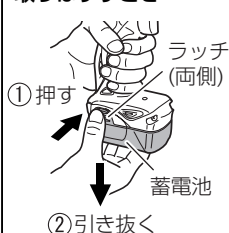
コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む



## 4 蓄電池を充電器にさし込む

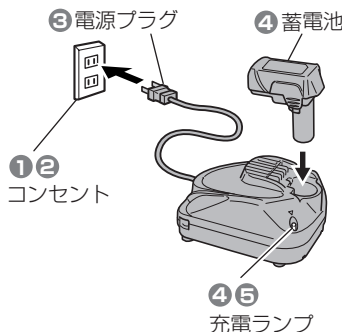
取りはずすとき



- 下図のように蓄電池を充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

## 5 充電の完了

- 充電されると充電ランプが消えて充電完了をお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



**充電時間：約40分**

**注** 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

## ⚠ 警告

- 充電は必ず専用の充電器を使用してください。
- 温度が 0℃未満または温度が 40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。最適温度は、20～25℃です。

## ●蓄電池を長持ちさせるコツ

- 蓄電池が空（から）になる前に充電  
工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が痛み、寿命を短くします。
- 高温時の充電は避ける  
工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。すぐ充電すると蓄電池の寿命を短くします。

## ●充電器と蓄電池の取扱いについて

- 一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度充電器を休ませてください。同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。

## ●充電ランプの点灯について

- 充電ランプが点灯せず、充電開始状態にならないときは、電源プラグをコンセントから抜き、蓄電池のさし込み具合を確認してください。
- 蓄電池が高温の場合、充電器にさし込んでも充電ランプが点灯しないときがあります。そのときは、蓄電池を冷ましてください。

## ●蓄電池の寿命について

- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。寿命のついた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
- 蓄電池の寿命がきたものは、リサイクルしますので廃棄しないで、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

### ○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。



# 基本機能について

ご使用前に、本製品の基本機能をお読みください。

## ●電池残量警告ランプについて

工具本体を空回し(無負荷状態)すると、蓄電池の残量を確認できます。蓄電池の残量が少なくなると、警告ランプ(赤色LED)が点灯します。このときは、すみやかに電池を充電してください。



電池残量警告ランプ  
(赤色LED)

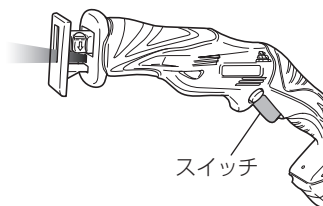
- 注**・電池残量警告ランプが点灯するタイミングは、周囲の温度や蓄電池の特性によって変化します。充電するときの目安としてお使いください。
- ・作業中に電池残量警告ランプが点灯する場合があります。これは一時的に電池電圧が低下したことによるものであり、電池残量が低下したことによるものではありません。
  - ・蓄電池の残量確認は必ず工具本体を空回ししながら行ってください。

## ●LEDライトの使い方

### ⚠ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

スイッチを引いている間、自動的にLEDライトが工具先端部を照らします。

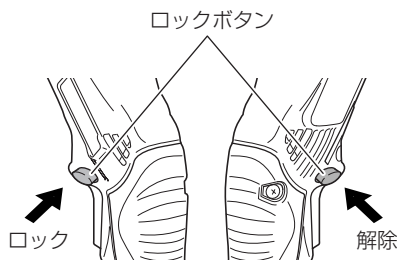


スイッチ

## ●スイッチロックについて

誤ってスイッチを引いてもモーターが起動しないようにスイッチロックがついています。ロックボタンは、しっかりと押し込んでください。

**注** ロックボタンは中間の位置でも止まりますが、しっかりと奥まで押し込んでください。



**注** 次の場合は必ず、ロックボタンをロック側に押し込んでください。

- 作業を中断および終了したとき
- ブレードを取付け・取りはずすとき
- ベースの位置を調整するとき
- 保守・点検・保管するとき

## ●スイッチで回転数を微調整

スイッチの引込み量で無段階に回転数が変わります。切断開始時はスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

## ●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチの引込み量が少ない状態（低速回転域）で切断作業を連続的に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

## ●連続作業について

**注意**

使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

## ●工具の保持と押し付け力について

工具本体は両手で確実に保持してください。

また、工具本体は必要以上に押し付ける必要はありません。工具本体をこじる力や押し付ける力が過度にかけると、工具本体の故障の原因になりますのでご注意ください。

# ブレードの取付け・取りはずし

ツールレス着脱機構を搭載していますので、スパナやレンチなどの工具を使用しないで、ブレードの取付け・取りはずしができます。

## ⚠ 警告

- ブレードの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、ロックボタンをロック側(右側)に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- ブレードを引っ張るときは、必ずブレードの背面を引っ張ってください。刃のついている部分を引っ張ると、けがの原因になります。

## ●ブレードの取付け

**1** スwitchを切り、ロックボタンをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。

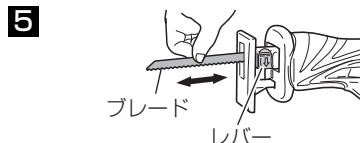
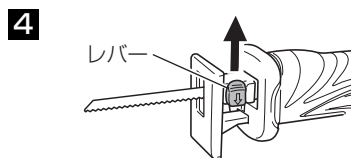
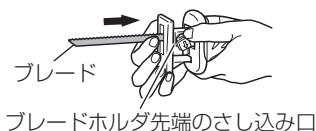
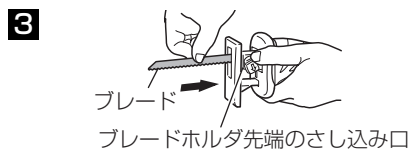
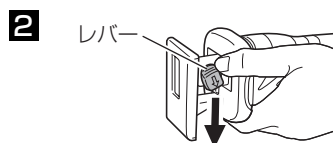
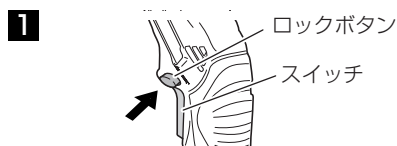
**2** レバーを矢印の方向(レバーに刻印された矢印と同じ方向)に押し下げます。

**3** レバーを押し下げたまま、ブレードをブレードホルダ先端のさし込み口いっぱいまでさし込みます。(P14「取付け・取りはずしのコツ」参照)

ブレードの向きは、作業に応じて上下どちらにも取付けできます。(図の下は逆方向取付け)

**4** レバーから指をはなすと、スプリングの力で自動的に戻り、ブレードが固定されます。

**5** ブレードの背面を指で2～3回引っ張り、確実に取付けられたことを確認してください。

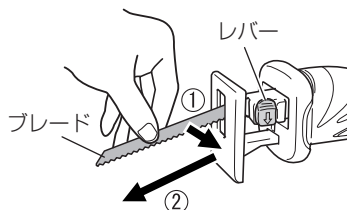


## ●ブレードの取りはずし

左ページブレード取付け手順**1**—**2**のあと、ブレードを下に向けてゆすり、落下させます。落下しない場合は、ブレードをレバー側に寄せて引き抜きます。

### ⚠ 注意

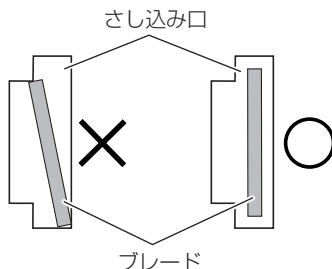
使用直後のブレードは高温になっているので触れないでください。  
やけどの原因になります。



## ●取付け・取りはずしのコツ

ブレードの取付け・取りはずしがスムーズにできないときは、ブレードのさし込み口に対してブレードが左下図のようになっています。

右下図のようにすると、取付け・取りはずしがスムーズに行えます。



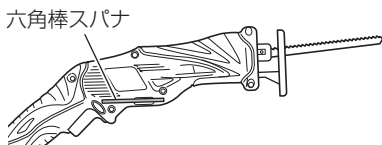
## ベース位置の調整

付属の六角棒スパナを用いてベースの取付け位置を調節できます。切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調節してください。

**1** ベース止めねじを付属の六角棒スパナでゆるめて、ベースの取付け位置を調整します。ベースは約 20 mm 移動できます。

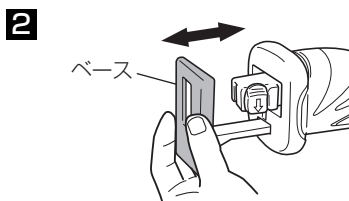
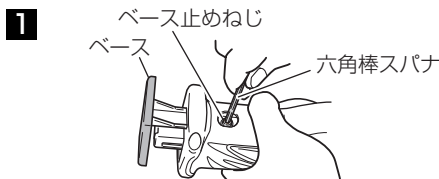
**2** ベースを調整した後、ベース止めねじを付属の六角棒スパナで十分に締付けてください。

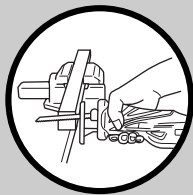
六角棒スパナは下図のように収納することができます。



### ⚠ 注意

ベース位置の調整の際は、必ずスイッチを切り、ロックボタンをロック側(右側)に押し込みロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。





# 切断する

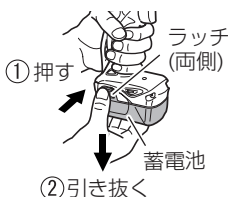
各種木材、軟鋼板、アルミ板、ベークライト、塩化ビニールなどの各種合成樹脂の切断ができます。

## 1

### 蓄電池を取りはずす

誤動作防止のため、ロックボタンをロック側(右側)に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。

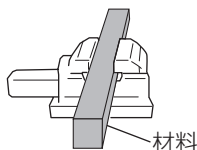
(P 12「スイッチロックについて」参照)



## 2

### 切断材料を固定する

クランプや万力などで、切断材料がしっかり固定されているかをご確認ください。

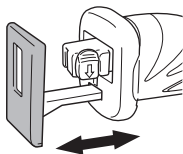


## 3

### ベース位置を調整する

切断材料の大きさに合わせ、ベースの前後位置を調整します。

(P 14「ベース位置の調整」参照)

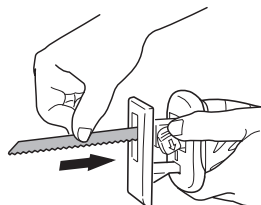


## 4

### ブレードを取付ける

切断材料の材質・厚さ・大きさに適したブレード(種類・長さ)をご使用ください。

(P 13「ブレードの取付け・取りはずし」参照)



### 警告

- ブレードの長さは、下図に示すようにストローク量(13 mm)を差し引いたブレードのベースからの飛び出し長さが、切断材料より十分大きくなるように選んでください。
- ブレードの切断能力以上の大きい木材などを切断すると、ブレード先端が木材内部で突き当たって、ブレードを折損する恐れがあります。

ストローク量

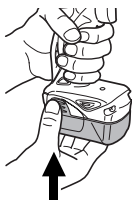




# 5

## 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

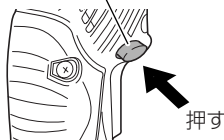


# 6

## スイッチロックを解除する

ロックボタンを解除側(左側)に押し込みスイッチロックを解除します。  
(P.12「スイッチロックについて」参照)

ロックボタン



# 注意

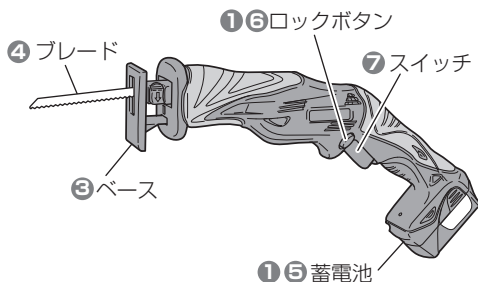
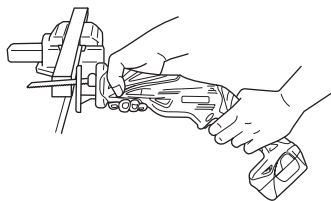
- 作業中はベースを切断材料にしっかり押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、ブレードを損傷することがあります。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- 小さな円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードを折損する恐れがあります。

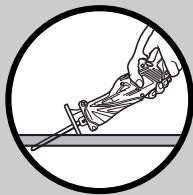
- 注**
- 切粉などがブレード取付け部周辺の凹部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください。
  - 金属切断時は切削油を使用してください。切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。

# 7

## スイッチを入れる

- 切断箇所にブレード位置を合わせてベースを切断材料に押し当て、スイッチを引きます。
- 金属切断時には、切削油(タービン油など)をご使用ください。





# 窓抜きする

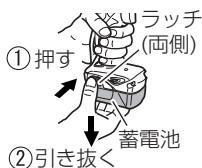
木製の合板パネルや薄板木材の窓抜きができます。

## 1

### 蓄電池を取りはずす

誤動作防止のため、ロックボタンをロック側（右側）に押し込み、蓄電池を工具本体から抜いてください。

（P 12「スイッチロックについて」参照）



## 2

### 切断材料を固定する

クランプなどで、材料がしっかり固定されているかをご確認ください。

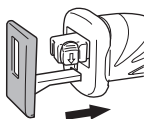


## 3

### ベース位置を調整する

ベースを本体に一番近い位置にします。

（P 14「ベース位置の調整」参照）



## 4

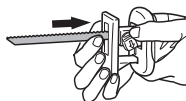
### ブレードを取付ける

• できるだけ短くて、厚いブレードをご使用ください。

（P 20「別売部品」参照）

• ブレードを上下逆向きに取り付けると開始穴があげやすくなります。

（P 13「ブレードの取付け・取りはずし」参照）



## 5

### 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



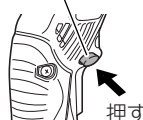
## 6

### スイッチロックを解除する

ロックボタンを解除側（左側）に押し込みスイッチロックを解除します。

（P 12「スイッチロックについて」参照）

ロックボタン



# 7

## スイッチを入れる

- ハンドルをゆっくり持ち上げて、少しずつブレードを材料に切り込みます。(下図 **1** → **2** 参照)
- ブレードが完全に材料を突き抜けるまで、しっかり機体を保持してください。(下図 **2** → **3** 参照)

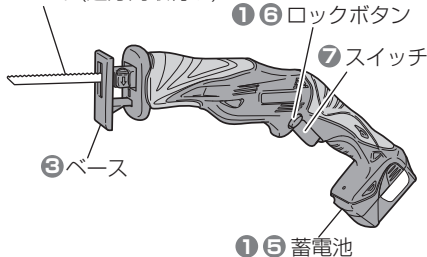
④ ブレード(逆方向取付け)

①⑥ ロックボタン

⑦ スイッチ

③ ベース

①⑤ 蓄電池



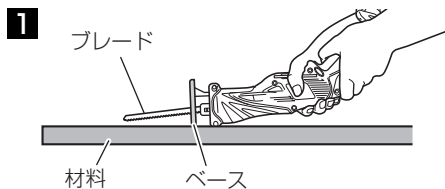
## 警告

- 金属材料の窓抜きはしないでください。ブレードを折損する恐れがあります。
- ブレードの先端を材料に押し付けた状態でスイッチを引かないでください。ブレード先端が材料に勢いよく当たって、ブレードを折損する恐れがあります。
- 必ず機体をしっかり保持して、ゆっくりと作業してください。無理な力を加えると、ブレードを折損する恐れがあります。

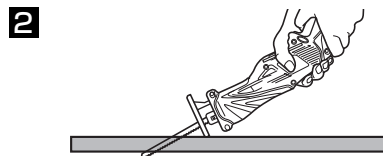
## ●窓抜きのコツ

ブレードを逆方向に取付けると、機体をより寝せた状態で切り込みを開始できるため(下図 **1** 参照) スムーズに窓抜きの開始穴をあけることができます。

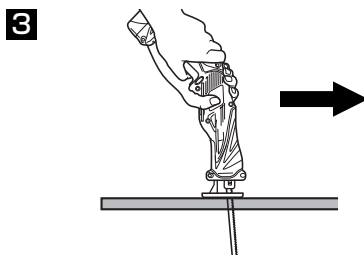
**1** 材料にベースを押し当て、ブレードの先端を材料からはなした状態で、スイッチを引きます。



**2** スイッチを軽く引き、スピードがゆっくりな状態で少しずつ穴をあけます。



**3** スイッチをいっぱい引き、少しずつ進めます。



# 仕 様

## 1. 工具体体仕様

形 名	FCJ 10DL
切 断 能 力	木材：厚さ 50mm 軟鋼板：厚さ 4mm
モ ー タ ー	直流モーター
無負荷ストローク	0～2,700 min <sup>-1</sup> {回/分}
ス ト ロ ー ク	13 mm
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	10.8 V
工 具 本 体 寸 法 全長×高さ×幅	349mm×207mm×60mm (BCL 1015 装着時)
質 量	1.2 kg (BCL 1015 装着時)
電池残量警告ランプ	赤色LED
L E D ラ イ ト	白色LED

## 2. 充電器仕様

形 名	UC 10SFL
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間	BCL 1015 …………… 約 40 分 (気温 20℃時)
充 電 電 圧	10.8 V
充 電 電 流	2.0 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.35 kg
使用温度範囲	0℃～40℃
充 電 ラ ン プ	赤色LED

## 3. 蓄電池仕様

形 名	BCL 1015
容 量	1.5 Ah {1,500 mAh}
冷 却	非対応

# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください。

- 注**・表中に記載してあるブレードをご利用ください。表中以外のブレードも取付きますが推奨はできません。
- ・表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をミニソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをミニソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
  - ・加工物の形状・厚さと、ブレード形状の組合せによっては切断中にロックすることがありますのでご注意ください。

主要 切断 材料	ブレード No.	ブレード形状	山数/ 1インチ	全長 mm	切断能力 mm				
					木材 合板	塩ビ プラスチック アクリル	軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属
木 材	No. 1		9山	88	20~35				
	No. 2		12山	83	20以下	3~20			
	No. 1 (ロング)		6山	160	50以下				
	No. 1 (スーパーロング)		6山	185	50以下				
	No. 11		8山	105	10~50	5~20			
	No. 31		9山	105	20~50				
	No. 12		20山	77	20以下	10以下			
	No. 21 (仕上用)		6山	105	10~50	5~20			
	No. 22 (仕上用)		10山	105	5~40	3~15			
	No. 41 (仕上用)		8山	116	10~50				
	No. 1 (仕上用)		12山	82	8~30	3以下			
鉄 材	No.123X		10~21山	100			1.5~4		
	No. 15		8山	77		5~15	3~4		3~8
	No. 16		25山	77		5以下	3以下		3以下
ス テ ン レ ス	No. 97		21山	77		5~15	2~4	1.5~2	5以下
	No. 95		18山	83		5~20	3~4	1.5~2	3~6
合 成 樹 脂	No. 4		13山	83		3~20			
FRP	グリッド		—	83	FRP板厚 10 mm				

# 点検とお手入れ

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、ロックボタンをロック側（右側）に押し込みロックして、蓄電池を工具体体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

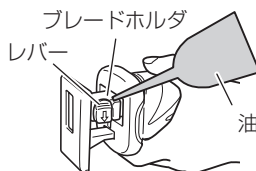
## ●ブレードの点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。早めに新品と交換してください。

## ●ブレード取付け部の清掃・注油

ブレード取付け部周辺の凹部に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくと、ブレードホルダ周辺部がさびついて機体内部の故障の原因になります。

- ブレード取付け部をいつも円滑に動かすため、ご使用後は、切粉・土・砂・水分などをエアで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。
- 右図のように、ブレードホルダ周辺部に切削油などを定期的に注油してください。

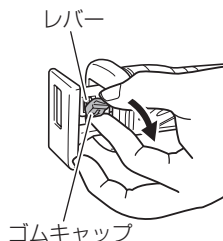


切粉や粉じんによりレバーの動きが重くなり、指先ではブレードを取りはずせなくなる場合があります。

このような場合は、レバーに付いているゴムキャップを右図の矢印方向に引っ張り、レバーからゴムキャップを取りはずしてください。

そのあとに、エアなどでブレードホルダ内部を清掃し注油をしてください。ゴムキャップはレバーに強く押し付けて取付けます。

このとき、ブレードホルダとゴムキャップにすき間がないことを確かめた後、ブレード取付け部の円滑な動作を確認してください。



## ●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気の少ない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。

モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

## ●取付ねじの点検

工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。

ゆるんでいたら、締め直してください。

## ●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ●作業後の保管

作業後は、温度が50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。また、長期間（6ヵ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

**注** ● お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。

● 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。

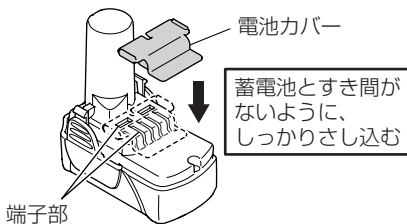
● 直射日光の当たる場所には保管しない。

● 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



# 故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
充電器	充電ランプが 点灯しない	電源プラグがコンセントにさし込まれていない	電源プラグをコンセントにさし込んでください。	P9
		蓄電池が充電器に確実にさし込まれていない	蓄電池が充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。	P9
		蓄電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取ってください。	—
		蓄電池が高温である	蓄電池を十分に冷ましてから充電してください。	P10
	充電開始後、 4時間くらい経過しても充電ランプが消えない	蓄電池または充電器の異常と考えられる	電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にお問い合わせください。	P10
本 体	動かない	蓄電池の残量がない (電池残量警告ランプが点灯しない)	蓄電池残量が少ないまま、長く使わない状態が続くと電池残量警告ランプが点灯しない状態まで電池残量が減少する場合があります。充電してください。	P11
		蓄電池のさし込みが 確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具本体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。 また、蓄電池は「カチッ!」と音がするまで確実にさし込んでください。	—
		ブレードが破損している	ブレードホルダおよび、その周辺が破損している可能性があります。ブレードを取りはずして確認してください。 破損している場合はお買い求めの販売店に修理を依頼してください。	P14 P21



	症 状	考えられる原因	処 置	参照 ページ
本 体	動かない	ブレードホルダ周辺部に異物がはさまっている	異物がはさまっているときは、蓄電池を抜き取り、ブレードを取りはずしてからペンチなどでゆっくり異物を取除いてください。 異物を取除いたとき、反動でブレードホルダが動くことがありますので、十分に注意してください。 切粉の付着やブレードホルダのさびで動かなくなることがあります。定期的に清掃、注油してください。	P21
		ブレードを材料に強く押し付けすぎた、または切断途中の材料にブレードが挟み込まれたなどのため過負荷状態になった	蓄電池を保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。いったんスイッチをはずし、過負荷の原因を取除いてください。もう一度スイッチを引けば、再びご利用になれます。 <b>注</b> 繰返しブレードが止まってしまいう作業を繰り返すとモーターの故障の原因になります	P 6
		スイッチロックが解除されていない	中間の位置では、ロックが解除されません。ロックボタンをしっかりと解除側（左側）に押し込んでください。	P12
	切断が上手にできない	ブレードの切れ味が悪くなっている	寿命とお考えいただき、新しいブレードをお買い求めください。	P20
		用途に適したブレードを使っていない	作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したブレードを使うことが大切です。日立電動工具カタログを参照してください。または、お買い求めの販売店にお問合せください。	P20
	ブレードがはずれない	レバーが動かない	ゴムキャップをはずして、付着しているごみを取除き、注油してください。	P21

---

メ 毛

---



# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

### ●フリーダイヤル



**0120-20-8822**

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに  
アクセス

右のQRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>